



KOAからのメッセージ

創業のビジョン●「農工一体」と「伊那谷に太陽を」

KOAは、かつて農村というコミュニティが崩壊していく中で、養蚕農家に生まれ育ったひとりの青年が農村の生活基盤づくりと安定した暮らしをこの地で実現しようと興した会社です。以来、創業者の「伊那谷に太陽を」という夢をかなえるために、「農工一体」というビジョンをめざし、経営が実践されてきました。お百姓がお百姓として暮らしていける環境をつくる、それが創業当時の時代の声でした。

企業ミッション●KOAを支える「5つの主体」との信頼関係構築

そうした先人の意志を引き継ぎ、また今の時代の声に耳を傾けたとき、KOAは、株主様、お客様・お取引先様、社員・家族、地域社会、地球との信頼関係の構築に努めることを企業のミッションといたしました。KOAの経営は株主様をはじめとして、皆様とのご縁に恵まれ、お力添えをいただいで成り立っています。

KOAは皆様とお近づきになれたことに感謝し、お付き合いの中で学ばせていただきながら、これらすべての主体にとっての企業価値を高めるため、企業活動に取り組んでいます。



企業経営の価値観●「循環・有限・調和・豊かさ」

企業という存在が、過去にないほど大きな影響力を全世界的に、そして地球規模でもつに至った現在、的確な時代認識の上に立った経営・企業活動が求められていると私たちは考えます。20世紀は人口爆発に代表されるような「拡大・無限・征服・利便性」といった人類本位のコンセプトの時代であり、そうしたことのために人類のみならず地球上のあらゆる存在が存続の危機を迎えているのではないのでしょうか。

そんな時代の切なる声に対して、私たちは「有限」の考えに立ち、人類を生かしてくれている地球環境とそこに生を受けたすべての生きとし生けるものとの調和を図り、拡大から循環、利便性から調和の中での豊かさを求めるべきではないかと考えます。

KOAは企業経営の価値観を「循環・有限・調和・豊かさ」に置き、「地球あっての人類、人あっての経営」という空間（場）を、企業活動の中にできる限り設ける努力をしています。さまざまな人のご縁あってこそKOAの経営が成り立つことを忘れずに、またその人類を生かしてくれている地球との調和を念頭にこれからも企業経営を進めてまいります。



『KOAらしさ報告書2017』 発刊にあたって

これまでKOAは、私たちのCSRに関する取り組みをお伝えするパンフレット『KOAのミッション』を毎年発行してまいりました。本書はその役目を引き継ぐものとして、昨年6月に株主の皆様にお送りしたアンケート用パンフレットをベースに制作したものです。

KOAを支えてくださっている5つの主体の皆様との間の信頼関係は、例えば、社員に対する教育研修の取り組みがお客様の期待に応える技術につながり、ひいては株主価値を高めることにもつながる、といったように、相互に関連性を持つことも多く、長期的かつ包括的な視点で取り組むことが重要であると認識しております。本書においては、その有機的な連携を意識しながら、皆様が

KOAの取り組み全体を俯瞰していただく際の参考としていただけるよう、各主体について1ページずつという紙面の制約を設けて作成しております。

また一方では、いくつかの取り組みについて、さらに詳細な情報をホームページよりご覧いただけるようになりました。より豊富な内容をわかりやすくお伝えできるよう、今後も工夫を進めてまいりたいと考えております。よろしければ本書とあわせてご覧いただき、ご意見・ご感想などお寄せいただければ幸いです。

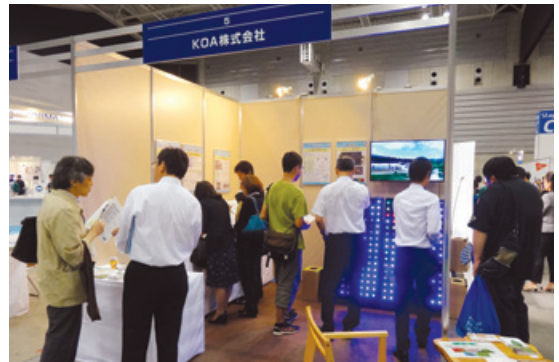
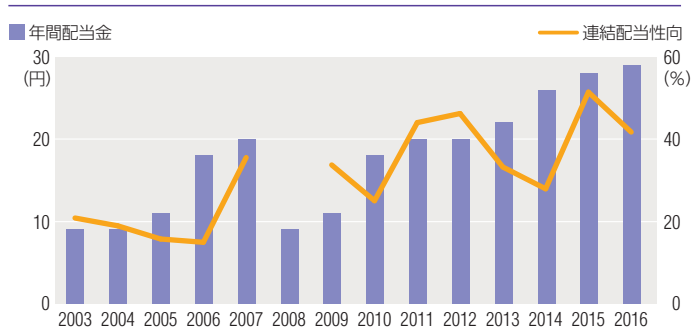


ずっと応援したくなる会社

株主である投資家の皆様にもまずお約束すべきは、事業活動による収益を継続的に還元することです。KOAは、ROE 8%を中長期的に実現することを目標に置いて、将来に向けた投資を積極的に行い、利益率を長期持続的に高めてまいります。

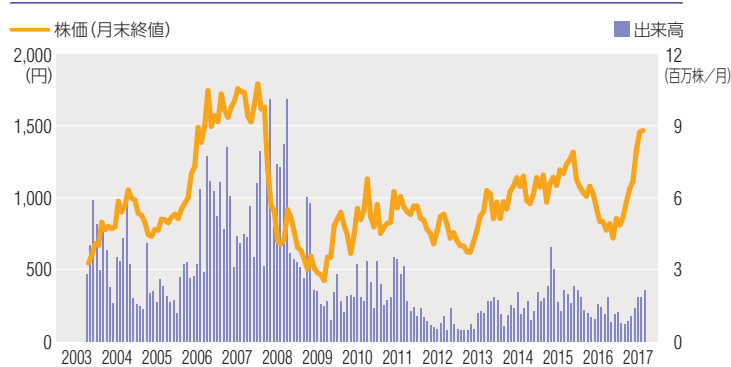
また、収益以外の面でも将来性について継続的に期待でき、末永く応援していただける会社であるために、正しい倫理観に基づいた経営を行うとともに、あらゆるステークホルダーとの間に信頼関係を築き、果たすべき責任を果たしていきます。

配当金および配当性向の推移



投資家向け合同説明会に参加

株価および出来高の推移



KOAの抵抗器を知っていただくための子供向け電子工作ワークショップ

① 配当性向

当社は、株主に対する利益還元を重要政策のひとつと考えており、急速な技術革新に対応した設備投資や研究開発による競争力の維持・強化および財務体質の強化を図ると同時に、配当水準の安定と向上に努めることを基本方針としております。

配当性向 (%) = 1株当たりの配当額 ÷ 1株当たりの当期純利益 × 100

② 株価

固定抵抗器のリーディング・カンパニーとしてこれまで培ってきた技術力と新たな市場を切り拓く開発力、そしてさまざまな社会的価値創造の活動などに対する多面的な評価が、株価に適正に反映されるよう努めていきます。

③ ROE

ROE 8%を目指す中期経営計画を策定し、品質・信頼性を重視する市場を中心に高付加価値製品を提供し継続的に競争力を高めるとともに、イノベーションの動向を予測し、そこで必要とされる技術や製品開発に経営資源を投入し、お客様とともに新たな価値を創造する活動を進めております。

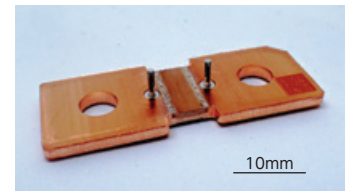
ROE：自己資本利益率

ROE (%) = 当期純利益 ÷ 自己資本 × 100

厚みと差異のある価値の提供

利益率を長期継続的に高めるためには、競争力を高めること、すなわち付加価値を高めることが求められます。KOAは、その製品、サービス、提案力等について、他には真似できない厚みや深みのある価値を提供します。

KOA製品は、車載ビジネス、センサー用途などで特に強みを発揮しており、今後も当社の主力である固定抵抗器市場は活発な動きが予想されます。今後は、お客様とともに次のマーケットを「共創できる研究開発型企業へ」と進化してまいります。



大電流マネジメントに適した
大電流シャント抵抗器



抵抗器の技術を応用した風の見える化パネル

④ QCD (品質・コスト・納期)

KOAでは製品、サービスのみならずあらゆる業務のQCDを、「一箇一個が私の保証です」を合言葉に徹底的に管理し、常に改善に努めています。

一箇とは、一つ一つのプロセス（個々の仕事の集合したもの）、一つ一つの仕事、一つ一つの設備、一つ一つの動作を表します。又、一個とは、一つ一つの製品を表しています。この“一箇一個”という字は、お客様に満足してもらうための、全ての一つ一つを数える意味を込めて用いています。

⑤ 提案力 (技術・新製品)

お客様にとって価値ある企業であり続けるため、イノベーションとKOAの基盤技術を結び付け、市場、お客様に新たな価値を提案するビジネスモデルを創出することに注力しています。

⑥ 事業継続リスク対応

想定される大地震等の災害に際しては、

- ①従業員・家族の安全を最優先
- ②地域社会への支援
- ③組織的対応で生産能力を速やかに回復

を基本方針とし、事業への影響を最小限にとどめるための事業継続計画 (BCP) を策定しています。

どこよりも明るく楽しい職場をつくろう

競争力、稼ぐ力の源泉は、人にあります。設備など形のあるノウハウもありますが、本当の強みは、社員一人ひとりの中にある学びと経験の蓄積です。

KOAは、創業者の遺訓として人員整理を戒め、「どこよりも明るく楽しい職場をつくろう」を社是とし、社員と社員を支えるご家族の皆様が、KOAの社員でよかったと思っていただけるよう、健康で安心して働ける職場づくり、能力を一層高めるための人事・教育制度の整備などに努めています。人への投資は、競争力向上の鍵です。

プラチナくるみんを取得

KOAは2009年、2013年のくるみんマーク取得を経て、2017年4月に「プラチナくるみん」を取得することができました。

「子育てサポート企業」として既にくるみん認定を受けている企業が、両立支援制度の導入や利用をさらに進め、高い水準の取組みを継続的に推進するよう、2015年4月にはじまったのがプラチナくるみん認定です。

KOAにおいては2005年より取り組んできた両立支援制度のさらなる理解と社員への浸透をいっそう進めるため、次のようなことに注力しています。

- 男性社員の育児休暇制度の浸透と取得実績の向上
- 女性社員の育児休業の高レベルな取得状況を維持継続
- 3歳から小学校就学前の子どもを育てる社員を対象とした短時間勤務制度の利用促進
- 管理基準の厳格化による所定外労働の減少
- 女性社員が活躍できる環境づくりと動機づけ
- 社員が働きがいを感じられる職場をつくるための管理職のありかたの研修

長野県労働局長より、子育てを積極的にサポートしている企業として認定を受けています。
(愛称：「プラチナくるみん」マーク)



創業の精神を学ぶ



KOAのDNAを伝え、受け継ぐための研修



創業者の頭影碑の前で思いを新たに

⑦ 安全・安心な職場環境

労働災害防止のための安全衛生活動をグループ一丸となって進めています。また、出産・育児・介護などの事情で一時的に職場を離れても安心して復帰できるよう、さまざまな制度で支援しています。その取組みが評価され、2010年に長野県の「社員の子育て応援企業知事表彰」を受賞しました。

⑧ 処遇（給与・賞与）

めまぐるしい環境変化の中で企業の成長と発展を持続するためには、社員一人ひとりの意欲と能力向上が必要不可欠です。そのために1996年に従来の年功序列重視の人事制度から能力・成果主義を中心に据えた制度への改革が始まりました。これにより、KOAの人事制度は、終身雇用は守りながら、年齢・性別などに関係なく、自ら能力を高め成果を上げた人が評価され、より高い処遇が得られる制度へと変わりました。

⑨ 働きがい（自己実現・教育研修）

KOAで働く者にとっての誇りである企業風土、文化を、大切に守り伝えていくために、「KOA物語」という研修を行っています。これまでに1,600名を超える社員が受講し、KOA創業以来の歴史に込められた想いを学んでいます。

伊那谷に太陽を

KOA創業者は、伊那谷で電子工業の産地化を果たし、地域における人と土地、人と風土、人と人とのつながりを保ちながらふるさとの発展を期すべく当社を創業しました。「伊那谷に太陽を」とはそのスローガンです。

KOAの歴史は、たゆまぬ改善活動の歴史であり、そのノウハウを継承する社員は、多くが地域からの雇用によります。これは創業の地のみならず国内外の拠点すべてで同様です。その恵みを資本とし継続的に雇用を生み、一方で経済的文化的な還元でも地域とのご縁を深めることは、強いものづくりを維持します。

郷土愛プロジェクト キャリアフェス

上伊那の産学官でつくる「郷土愛プロジェクト」では、中学生がふるさとの産業や文化に出会うきっかけをつくる「キャリアフェス」を開催しました。ビジネスブースでは、ふるさとを支える企業・職業の紹介があり、縁日・ヒューマンブースには、ふるさとを大切に

する活動をする地域団体が出店。生徒たちは多彩なブースを自由に覗いて地域の魅力にふれました。



キャリアフェスで
中学生にKOAを紹介



伊那谷財団

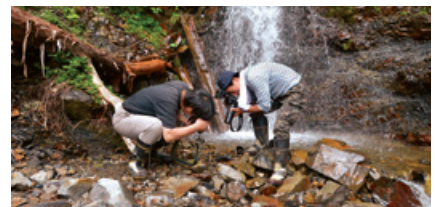
～こどもたちに伝えたい、残したい～

代表的助成事例

- 長野県内の河川・湖における珪藻類・プランクトン調査
- 木祖村の自然環境保護と保全活動
- 新方式小型高効率水力発電装置の研究
- 伊那谷民俗芸能「竹田人形座」の継承
- 裂織文化の継承と普及
- 長野県南部、特に伊那盆地における外来植物図鑑作成
- 天竜川水系水質調査と子供たちを中心とした環境教育
- みんなが楽しめる太陽電池パネル教材



第9回 伊那谷再発見
わらべのふるさと大行進



木祖村でのハコネサンショウウオ生態調査

⑩ 地域からの採用

地域における雇用創出はKOA創業当時のミッションのひとつです。それには地域での優秀な人材の育成と、その人材が活躍できる魅力的な企業の両輪が必要です。伊那谷のものづくりを支える人材育成の一環として、KOAは南信工短大を積極的に支援しています。

⑪ 郷土愛を育む

子供たちが自分が育ったふるさとの魅力を知らないまま大人になり郷里を離れていってしまうことは、地域にとって大きな損失です。KOAは伊那谷の産学官と協同して、子供たちが地域の職業人と出会って地域における職業の話をきいたり体験できる機会を提供するプログラム「夢大学」など、郷土愛を育む活動に参画しています。

⑫ コミュニティ還元活動

KOAの事業活動は、長年にわたり地域社会から大きな恩恵を受けています。伊那谷に伝わる風習や知恵に敬意をはらい、自然とともに生きるための技やしくみを大切に守って次世代に伝えていく伊那谷財団も、大切な活動のひとつです。

まあ～るい地球の変化の中で

企業の事業活動は、幾ばくかの影響を地球に与えます。ならば、その影響を最小限にとどめ、地球の営みとの調和を図ることは、持続的な企業経営にとって必須の条件です。

企業経営に「地球」という言葉が使われるようになったのは、比較的最近のことですが、KOAは約30年前から「地球あっての人類、人あっての経営」であるとの認識のもと、社内環境リスクの低減、循環型地域社会のモデルづくり、社内外での人材育成に取り組んでいます。

人工林の整備方法を伝承する KOA森林塾の取組み

人の手によってスギやヒノキ、カラマツなどが植えられた人工林は、日本の国土面積の約3割を占めています。しかし、その人工林において、間伐などの整備が停滞し、建築用材にならないばかりか、土砂崩落の防止や水源涵養などの公益的機能さえ果たせなくなっている森林が増えています。

KOA森林塾では、人工林の手入れに関する知識や技術を伝え、森林整備の担い手を増やすための講座を1994年に始め、2016年までに629人（延べ979人）が参加しています。

受講者総数 629人

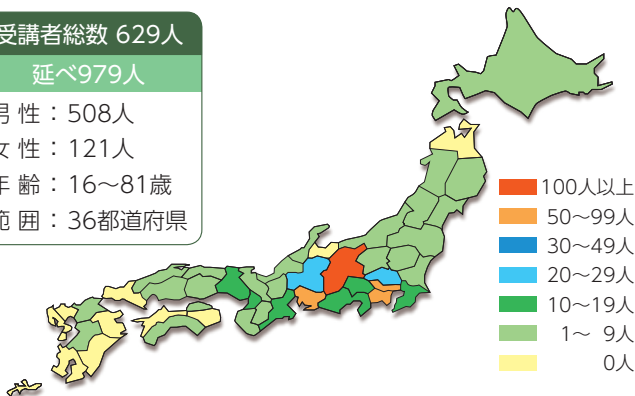
延べ979人

男性：508人

女性：121人

年齢：16～81歳

範囲：36都道府県



二本の棒と縄だけで自作した「ぶり縄」を使って木登り・枝打ち



チェーンソーの安全な使い方講習

⑬ 社内の環境リスク低減活動

KOAの事業活動が地球に与える影響を極小化するためISO14001に準拠したマネジメントシステムを「おてんとうさま」という愛称で運用し、環境事故予防、廃棄物削減、省エネ活動など環境リスクの低減に努めています。

⑭ 自然環境と調和した工場建設

1992年竣工の匠の里では、生息していたギフチョウを呼び戻すために食草のヒメカンアオイが育つ雑木林を敷地内に社員の手で復元しました。それ以降建築された工場でも、立地する地域の自然環境や伝統文化と調和する建設に努めてきました。

⑮ 循環型地域社会のモデルづくり

KOAの事業所はそれぞれの所在地の特性を活かして地球との調和を目指します。例えば伊那谷においては、天竜川水系を舞台に地域の皆様と力を合わせて、循環型社会のモデルづくりに取り組んできました。

『KOAらしさ報告書』 詳細版のご紹介

KOAのCSR活動についてお伝えする『KOAらしさ報告書』の詳細版は、投資家様、お客様・お取引先様、社員・家族、地域社会、地球という「KOAを支えていただいている5つの主体」との信頼関係の構築において、それぞれどのような取り組みをしているか個別に詳しく紹介した資料群です。弊社ホームページに掲載しています。

QRコード



<http://www.koaglobal.com/corporate/csr/rashisa>



KOA株式会社

〒399-4697
長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016
KOAパインパーク内アースウイング

TEL.0265-70-7171
FAX.0265-70-7711
URL <http://www.koaglobal.com>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

